平成24年度福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会

第4回条例委任検討部会議事録

日 時：平成24年7月17日(火) 17:00～18:00

場 所：本庁15階 1503会議室

参加者：委 員 7名

事務局 3名 合計 10名

議事

(1) 高齢者保健福祉審議会への報告(案)について

(2) 中間報告(案)～パブリック・コメント素案～について

事務局から、福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会第4回条例委任検討部会の開催にあたり、委員数9名中7名が出席で、定足数である過半数を超えているため、高齢者保健福祉専門分科会運営要綱第2条第4項の規定により、本会が成立しているとの報告があった。また、情報公開条例に基づいて、本部会は原則公開となっている旨の報告があった。

第4回目条例委任検討部会の審議に入る。

なお、質疑、意見等の内容は次のとおりである。

事務局：(資料1説明)

委 員：暴力団排除規定に違反した場合はどのような対応になるのか。指定取消までするのか。

事務局：そうなると思う。ただ、現在指定を受けている事業所には、指定更新申請をした時点でチェックしている。

平成22年12月以降の地域密着型サービスや、今年4月以降指定や更新の申請があった事業所についてはすでにチェックしている。今後は、網がかかっていない事業者へのチェックをすることになる。

対応は、いきなり取消ではなく、まず役員交替を求めるという対応が一つある。それが無理であれば、取消になると思う。

委 員：わかった。

事務局：施設系サービス等については、現に運営されている法人等であれば、利用者との兼ね合いが出てくる。

部会長：もともと社会福祉法人を設立する際に、例えば禁固以上の刑が科された者は排除するようになっているだろう。

事務局：そうである。

部会長：ただ、社会福祉法には暴力団についての具体的な規定はなかったが、福岡市の条例では、現在の経済社会情勢の中で、反社会的な組織に関わっている人には遠慮いただくという形であるのか。

事務局：平成22年度に、福岡県下の市町村で暴力団排除条例が順次制定されて以降、県へ申請者が暴力団関係者かどうかの照会をかける仕組みができており、順次照会をかけているところである。

委員：介護保険法が平成18年度に改正され、今年が6年目なので、多くの事業者について指定更新の際にチェックされているということになる。

事務局：チェックされていない事業所に対して、今後どのようなやり方で調査するのかは今後検討していく。いずれにしろ遅くとも次の更新時までには確認する。

委員：3ページの右側、検討項目の対応例の特別養護老人ホームの居室の定員の部分で、「基準設置の理由」とあるが、「基準緩和の理由」とした方が分かりやすいと思う。

事務局：全体の整合性が取れるような形で検討する。

部会長：4ページのNo.3、6ページのNo.11、No.12の従うべき基準を変更する項目については、前回より分かりやすい表記にしてある。

6ページのNo.17衛生管理等については結構踏み込んだ内容となっている。もともと特別養護老人ホーム等ではきちんと管理できているが、特定施設や短期入所についてもきちんと管理するように求めていくということになる。では、資料1についてご了承いただくということによろしいか。

各委員：異議なし。

部会長：ただ、「てにをは」も含め文言の表記等に修正があった場合は、私と事務局で調整をした上で、専門分科会に諮ることになる。現時点では基本的に修正はないが、細かい文言については事務局と私にご一任いただくということでご了承いただいたということである。

各委員：異議なし。

事務局：（資料2説明）

事務局：先ほど指摘があった「基準設置の理由」については、全体の流れに関する部分

なので、再度事務局で検討させていただく。

委員：21ページの1段目の対象サービスのところで、「以下、全般とする」という文言が一番上に出てくるが、以下が何を指すが分かりにくいので、「以下は全般という言葉を使用しますよ」ということが分かるような表現の方がよいと思う。

事務局：その部分については工夫する。「以下、全般とする」をサービス名の下に書いた方がまだ分かりやすい。

部会長：23ページには全般としか書いていないものがあるがどう違うのか。

事務局：最後に「以下、全般とする」と記載することにする。

副部会長：13ページ右側で、4福岡市条例で定める基準の主な内容（例：介護老人福祉施設）となっているが、他の部分では「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」となっているので、統一した方がよいのではないか。

毎回資料に目を通していて思うが、用語が難しすぎる。用語の意味を再確認しても、しばらく経つとすぐ忘れてしまうことの繰り返しなので、何とかならないのかといつも思う。

委員：法律によって読み方が違うこともある。

事務局：指摘された特別養護老人ホームと介護老人福祉施設の表記については統一する。

部会長：統一したほうがよい。根拠になる法律によって言い方が違うということは、関係者には分かるが、市民には理解しづらい。

副部会長：私がいつも思うのは、言葉の難しさである。用語を全部日本語にしようとするので非常に難しい。

部会長：以前、小泉厚生大臣の頃、片仮名用語が多いので、できるだけ日本語を使うようになった。例えば訪問介護だと、以前はホームヘルプサービスと言っていたが、介護保険制度になってから訪問介護と言うようになった。

委員：そういう意味では、21ページ以降の対象サービスの欄には、括弧して書いてある。

事務局：正式名称だけではなかなか分からないので、記載している。

部会長：特に、平成17年以降の法律改正で新しく加わった小規模多機能型居宅介護等は分かりにくい。

委員：グループホーム等は分かりづらいがどうしようもない。

部会長：厚生労働省令を踏まえて福岡市がどう条例に位置づけていくかという前提なので、限られた文章の中で分かりやすく示していくのは難しい。

事務局：高齢者保健福祉計画の策定の際、後ろに添付した用語集のようなものを、パブリック・コメントの中で載せることはできる。

部会長：用語集の分量がそれほど多いわけではない。パブリック・コメントの際に工夫をするようお願いしたい。

委員：今日承認された資料2について、専門分科会へ上げ、専門分科会での確認をもとにパブリック・コメントを行うことになるのか。

事務局：専門分科会で確認の上、市へ中間報告を行っていただく。市としては、それを常任委員会に報告しパブリック・コメントを実施するという形になる。常任委員会は9月議会の開会中で考えおり、パブリック・コメントの実施はその後の9月下旬になる。

委員：中間報告はこのようなスタイルだと思うが、市民向けのパブリック・コメントには頭書きか何かあるのか。

事務局：当然ある。

委員：分かった。

部会長：いわゆる導入部分がおそらく1ページ程度はあるだろう。

確認するが、指摘をいただいたのは、「以下、全般とする」と、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」の表記を工夫するということ、パブリック・コメントを実施する際に鑑をつけるということである。どちらにしても8月の専門分科会で説明するので、そのときに案が出されると思う。

事務局：そうである。

事務局：条例委任されているのは、高齢者関係と障がい者関係がある。障がい者関係の方は、部会を作らず専門分科会で議論しており、どちらかというが高齢者関係の方が少し先行している。中間報告案については、今大体の方向性を議論していただいたが、障がい者関係の方と最終調整せざるを得ない部分があるので、8月7日の高齢者保健福祉専門分科会に出す資料に若干変更がある可能性があるということをご了承いただきたい。

部会長：分かった。障がい者関係の方はどれぐらい進んでいるのか。

事務局：障がい者関係の方は、今説明したとおり、条例委任検討部会まで設けず専門分科会で進めている。

6月の専門分科会で、障がい当事者からの意見を聞く場を持つべきだということで、高齢者と同じように事業者へのアンケートを実施した。身体、知的、精神の各々の団体から当事者として委員になっていただいている方々に、こちら

の部会で説明したような検討項目案, アンケート結果等を説明し意見をいただいているところである。

障がい者については, 国の障害者基本法を踏まえ, 公募で障がい当事者の委員を3名追加しており, 今後, 説明をして意見を伺った上で, 高齢者関係と同じように各検討項目案について, 事務局で方向性をまとめ, 8月の専門分科会に上げるという段階である。

委員：福岡県, 北九州市, 久留米市との協議はされたのか。

事務局：事前協議等はしており, 情報交換等も逐次している。

委員：意見交換の結果, 最終的なものがこれだということか。

事務局：現時点ではそうなる。北九州市は最初に意見募集し, 県は少し前にパブリック・コメントをしている。

意見交換というのは, 基本的には検討項目を俎上に乗せるということで, それから具体的に条例に盛り込むかは市が独自に決める。その過程を条例委任検討部会に出して, 検討していくという形になる。

委員：福岡市の場合, その結果がこうなったということか。

事務局：そうである。今後は, パブリック・コメントで出た意見を踏まえて検討していく形になる。

部会長：他にないか。

各委員：なし。

部会長：それでは, 意見をいただいた部分については, 今後事務局で検討するというようにする。

以上で本日の審議は終了する。事務局から何かあればお願いしたい。

事務局：先の話だが, 次回の条例委任検討部会は, パブリック・コメント終了後, 出された意見を踏まえた上で, 10月下旬頃に開催したいと考えている。

以上をもって, 福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会第4回条例委任検討部会を閉会する。